

平成30年
7月15日号

みのり

【発行】
早通小学校区
コミュニティ
協議会広報部

～コミ協総会を開催しました～ ※平成30年度事業などを承認

今年度の早通小学校区コミュニティ協議会の総会は5月26日(土)、30数人が参加して神明会館で開かれ、別記の年間事業計画や予算案などが承認された。また改選期を迎えた三役人事は、いずれも留任していただくことが決まった。

オブザーバーとして斉藤・早通小校長、橋谷田・亀田西中学校長、江南署・川上生活安全課長、小林・江南区社会福祉協議会事務局長が参加され、それぞれあいさつされました。会員の皆様には、地域の安全確保と活性化のために、各種事業に積極的に参加していただけるよう、ご理解とご支援をお願いいたします。



<平成30年度年間事業>

月	事業内容	担当部会
4	理事会	事務局
5	平成30年度総会	部会合同
6	防災訓練	安全安心部会
7	みのり発行	広報部会
8	理事会	事務局
	夏休みお楽しみ会	福祉部会
	区長懇談会	部会合同
9	福祉懇談会	福祉部会
10	理事会	事務局
	歩け・歩け交流会	親睦部会
	おはよう朝ごはん講習会	福祉部会
12	安心安全パトロール	安全安心部会
	理事会	事務局
	五味出しボランティア	福祉部会
	みのり発行	広報部会
1	賽の神	親睦部会
2	理事会	事務局
3	スポーツ交流会	親睦部会



～平成30年度の役員～ ※安全安心部会長に57区の須田さん

コミ協の構成員は、早小校区の8つの自治会会員です。加えて、交通安全協会、同母の会、小、中学校PTA、消防団、地区福祉協議会の6団体と地域の民生委員で構成されています。

佐藤洵吉会長、小形松男副会長、杉本克己事務局長が三役。その下に①安全安心部会（須田義延部会長）②地域の連携・親睦部会（佐藤会長兼任）③福祉部会（小林良子部会長）④広報部会（佐々木賢介部会長）があります。須田さん以外は留任でした。

また今年度の8つの自治会会長は、以下のとおりです。よろしくお願いいたします。

乙川 和芳さん（亀田第39区＝泉町、荻曽根5丁目）
小島 和夫さん（茅野山亀田第41区）
坂上 久男さん（上早通）
熊倉 庄栄さん（亀田第44区＝中早）
熊倉 秀忠さん（亀田下早通）
浅田 幸司さん（長湯）
佐藤 左右さん（丸湯）
須田 義延さん（亀田57区＝通称早通団地）

<平成29年度決算 及び 平成30年度予算>

平成29年度【決算】

収入額合計：1,123,696円 支出額合計：1,018,843円 繰越額：104,853円

平成30年度【予算】

収入見込額：1,074,300円 支出見込額 1,074,300円

***** 新潟市から補助金をいただいて活動しています *****

～協力し合って命を守る！地域合同防災訓練が実施されました～

6月23日、マグネチュード7.0、震度6弱の地震を想定し防災訓練を行いました。

今回の訓練には早小PTA、児童、地域住民、江南区役所職員総勢247名が避難所となる早小体育館に集まり、様々な体験活動を行いました。

地域ごとに分かれ各教室で危険箇所や不審者情報などの情報交換をしながら非常食（アルファ化米）をいただきました。食事を通して児童と地域住民がお互いを知り交流することができました。

後半の防災教室では、DVD（心に刻む5つのこと）視聴と講話を聞き、物干し2本と毛布1枚を使用した簡易担架作り体験を行いました。思った以上に本格的な担架に子どもたちは「すごい！寝やすい！」、「すごい頑丈！」と感嘆の声があがっていました。

今回の訓練を通し、地域と学校が協力し命を守ることの重要性を実感してほしいと願っています。





～「こんにちは」の音が響く、明るい早通小学校～ 早小のすごいところをお伝えします！

早通小学校のすごいところに、子どもたちのあいさつがよいことが挙げられます。朝のあいさつも元気で礼儀正しくてよいのですが、それ以上にすばらしいのが、校内でお客様に会ったときの「こんにちは」というさわやかなあいさつです。

早通小学校の校舎に入って廊下を歩いていただくと、たくさんの子子どもたちが次から次へと「こんにちは」「こんにちは」とあいさつをします。1年生から6年生まで、どの学年の子子どもたちも「こんにちは」とあいさつをします。多くのお客様から、「早通小学校の子子どもたちは、あいさつがすばらしいですね」とお褒めの言葉をいただいています。

早通小学校の「こんにちは」のあいさつは、今や伝統となりつつあります。少し前までは、ここまであいさつが盛んではありませんでした。きっかけは、2年前の6年生が、校内で積極的に「こんにちは」とあいさつをしていたことに始まります。それを見た下級生が真似をして、全校に広まりました。6年生が手本となってよい伝統が作られていくことに喜びを感じます。

あいさつのすばらしさは、校舎の中だけではありません。6月の修学旅行で、今年の6年生は、旅行先でもたくさんの方々に自分から「こんにちは」とあいさつをしていました。一番印象的だったのは、佐渡に行く船に乗ろうと歩いていたときのことです。船から降りてきた佐渡から来られた多くの方々に早通小学校の6年生が「こんにちは」とあいさつをすると、何人もの方から「これから佐渡に行くの？ありがとう。たくさん勉強して楽しんできてね。」と声をかけていただきました。あいさつから、人と人とのうれしいコミュニケーションが生まれました。

皆様も、早通小学校にお越しください。子どもたちの元気な「こんにちは」が皆様をお迎えします。

(早通小学校 校長 齊藤 裕子)

～地域共生社会の実現に向けて～ 困りごとの相談、いつでもどうぞ。

早通地区の皆さまには、平素江南区社会福祉協議会（社協）の活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年度は、早通地区社協を新たに設置いただくとともに、早小校区コミ協との協働により、誰もが安心して暮らせる地域づくりをめざして、多様な事業を展開されたことに対しまして、敬意と感謝申し上げます。

ますます進展する少子高齢・人口減少社会に向けて、人々が様々な生活課題を抱えながらも、住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、地域住民等が支え合い、誰もが役割を持って活躍でき、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていくことのできる「地域共生社会」の実現が求められています。

そのようななか、江南区社協としましては、今後も早通地区社協・早小校区コミ協への積極的な支援

を通じ、早小校区コミ協の目的である「子どもから老人まで何でも話し合える横のつながりを大切にしながら地域の課題を共有し、解決の道筋を協議し、誰もが安心して暮らせる地域をつくること」の実現に向け、コミュニティの特色や地域性に応じた住民の主体的な福祉活動のさらなる推進を図っていきます。また、「地域包括ケアシステム」の構築に向けて、様々な地域生活課題を受け止め、支え合いのしくみづくりをより一層推進していきます。

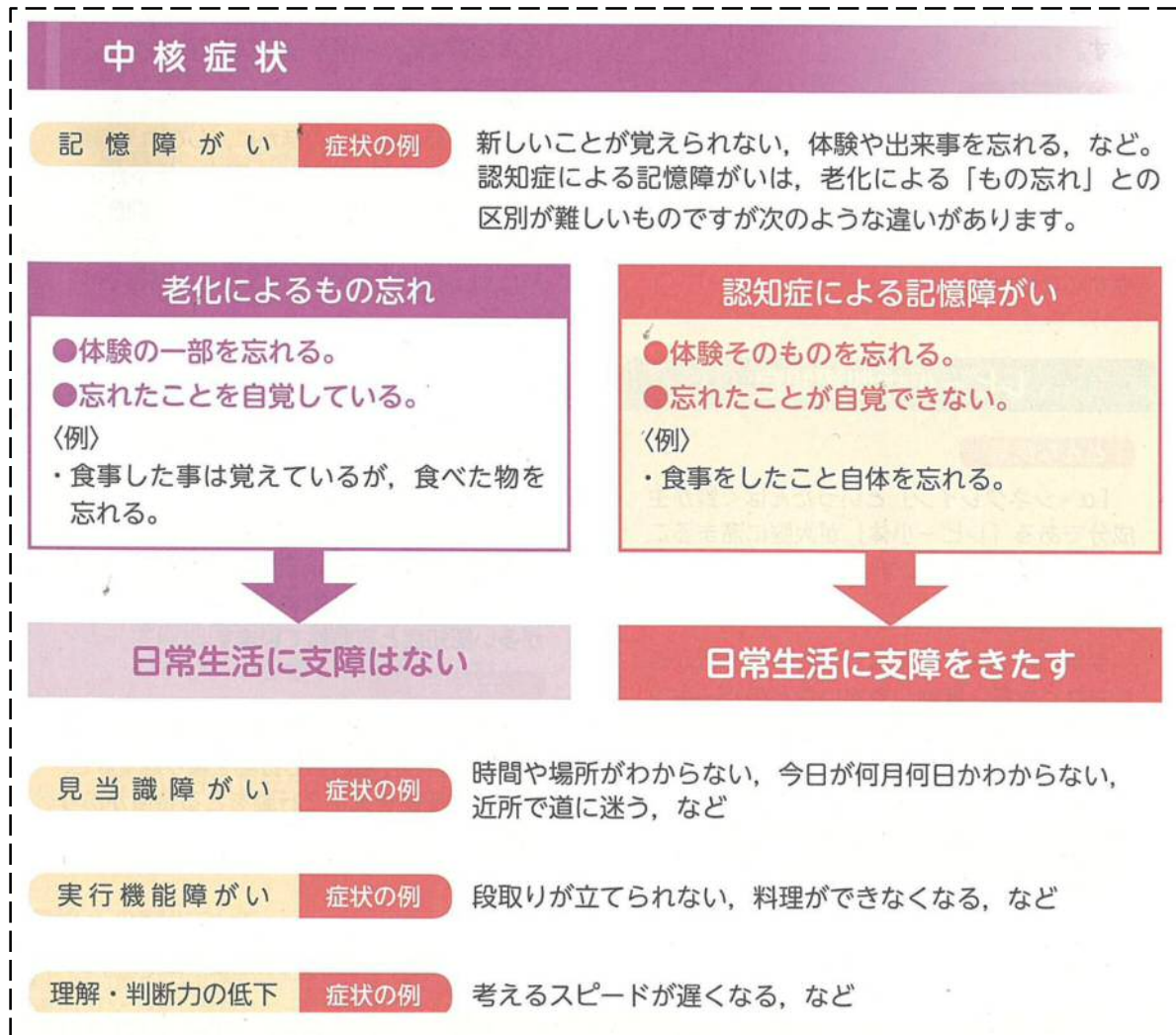
そのためにも、地域で実際起きている、地域の困りごとや課題などについて、皆さまの思いや声を、ぜひ江南区社協にお聴かせくださいますようお願いいたします。皆さまと一緒に汗をかき、早通地区のより明るい未来のため、協働の中核の役割を果たせるよう努めていきますので、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

(江南区社会福祉協議会 事務局長 小林 淑人)

＜認知症メモ＞

2回目になる今回は認知症の症状についてお知らせします。

認知症の症状は、大きく2つに分けることができます。認知症の人には、原因となる病気の違いなどにより、程度の差はありますが、共通して現れる「中核症状」と、現れるかどうかには個人差がある「行動・心理症状」があります。



「認知症ガイドブック」より抜粋

次回は、「行動・心理症状」についてお知らせします。

(江南区社会福祉協議会コミュニティソーシャルワーカー 高橋 桂子)

～校区の地名考④「早通」～

「亀田町史」などによると、ずっと昔は鳥屋野潟の一部だったが、しだいに陸地化し、沼地や葦原に変わっていった。江戸時代の初期、割野の農民が開拓に入り、当初は「割野新田」と呼ばれた。余分な湛水を流すため、「江溝」とか「居前堀」と呼ばれる南北に長い堀が作られ、この堀に沿って開拓が進められた。

割野や酒屋地区の人たちが、この堀を、新潟や沼垂に出る“近道”として利用するようになり、「早く通れる」という意味の「早通」の地名が定着した。

下早通地区の開拓はそれより40年ほど遅く始まり、上早と違って新発田藩領ではなく、天領だったことから「下早通村」として分離していた。しかし、明治10年両村は合併して「早通村」となった。

地名の元となった堀（写真右）は、昭和40年ごろから順次埋められ、いまは地区の中心を通る広い道路になっている。

下早地区には近年まで、多くの潟が残っていた。「駒首潟」「川根潟」「面潟」「五合の穴」（別称「ゴボウの穴」）など。

いまは埋め立てられ、イオンモール、神社境内、駐車場などになっている。しかし、いまでも多くは地区の共有財産として管理され、地元の繁栄に貢献している。（次回は長潟）



～小・中一貫教育～

亀田西中学校と校区内の早通小、亀田西小の3校で「小中一貫教育」が進んでいる。平成28年から本格化しており、3校の先生方が話し合った結果、今年度の重点3項目を決めた。

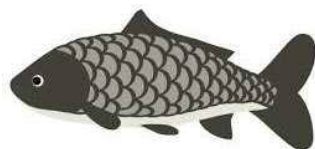
- ① 小中一貫した教育の始動 総合、道徳、家庭科、外国語、家庭学習について始める。
- ② 学び合いのある授業の推進 学習課題のまとめ、振り返り学習などで。
- ③ コミュニケーション能力の向上 あいさつ、相互理解、地域貢献などを通じて。

こうした教育を通じて、中学校に入学した当初に生じやすい“中一ギャップ”をなくす狙い。

～排水路にコイがうようよ～

最近、山崎排水路など校区内のあちこちで、コイの泳ぐ姿が見られるようになりました。

6月22日昼、たまたま通りがかった亀田郷土地改良区前の排水路には、10匹近くが群れていた（写真）。食糧不足の時代なら、だれかが喜んで捕まえるだろうが、いまはだれもかまわない。悠々と夏の日差しを楽しむコイたち。幅がわずか1mの側溝なのに、体調50cmに近い大物もいて、皆元気に育っているようです。（K・S）



～上早通 佐々木邸の思い出～

江南区早通3丁目地内に広大な屋敷を構える旧庄屋佐々木様の邸宅があります。

早通小学校の前身、斉美校が敷地内に置かれたと記録にあり由緒ある屋敷と聞いております。今の道路は昭和40年ごろまで水路でした。屋敷を四方、水路で囲み御影石の石垣を積み、その上には黒塀で囲んでありました。正面に入る橋は御影石の一枚岩で真ん中を高くして少し湾曲状に加工されていた記憶があります。

空き家状態になった頃から、水路に面した石垣から夏にヘビが出てきて、子供のころ怖い思い出がありました。

後年、管理されている方から許可を得て中を見させてもらう機会がありました。往時をしのぶ玄関。広い客間の長押しには国会議員であったか当主の大きな油絵の額が掲げてあり、広い座敷にはここで村の子供たちを集め学校教育を始めていたのかと思われ先人の努力、先見の明に感心させられました。裏口方面には、広い板場の台所、使用人の居室、納戸、小作人の入り口等々が見られ豪農の館を彷彿されました。

後年空き家状態になり床等が朽ちてきており、希少な文化的財産の保全が望まれております。明治時代のころより幾多の学制改革を経て今日の立派な早小の校舎に変わりました。

長岡藩の米百俵の精神を忘れずに、斉美校を発足された佐々木様御当主に深甚の敬意を払いながら、佐々木邸を後にしました。
(中早通 小形 松男)

～架空詐欺被害が急増しています～ ※お金は、必ず返ってくるというニセ電話に騙されないで！

「消費料金に関する訴訟最終告知のお知らせ」との内容で、民間訴訟告知センター、国民訴訟通告センター、紛争問題支援センター等という、もっともらしい名称が記載されているハガキが届いた方はいらっしゃいませんか？

新潟市内はもとより、県内一円で連日のように架空請求詐欺のハガキが届いていますが、その一つを紹介します。ハガキに記載された電話番号に電話をかけると、担当者が東京第一弁護士会に電話するように新たな電話番号を教えます。この番号に電話すると、

「民事で裁判所がハガキを出しているので内容は詳しくは分からないが、とりあえず10万円を納めれば取り下げができます。このうち9万円は必ず返ってきます」等と言葉巧みに騙してきます。

また、10万円を支払った後も、今度は訴訟相手の会社に電話するように言われ、「200万円支払えば裁判は終わる。弁済供託金制度というものがあって、手続きが終われば180万円は返ってくる」等と持ちかけられ、終わりはありません。

繰り返しますが、このようなハガキは詐欺です。絶対に電話をかけないで警察などに必ず相談してください。
(江南署 川上 哲也 生活安全課長)

～早通小学校コミュニティ協議会 事務室のご案内～

早通小学校の3階に早通小学校区コミュニティ協議会事務室が設置されていることはご存知ですか？

(地域コーディネーター室も併用しています。)

早通小学校区の保護者だけでなく、地域の皆さんの“団らんの場”としても活用していただきたいと思います。お気軽にお越しください。

《水曜日を除く平日の9時から11時》(変更あり)

事務室はこんなことをしています

- ◎ コミュニティ協議会広報誌「みのり」の作成。
- ◎ 安全スタッフ、ふれあいスクール(ふれスク)スタッフなど「あなたにもできる身近なボランティア」のご紹介。
- ◎ 地域と学校の声を、事務局に伝えます。みなさんの声をお聞かせください！
- ◎ 地域と学校の事業を支援します。みなさんの力をお貸しください！